

街にとっての他者になる（演劇のワークショップ）

レトロニム



概要

本企画では、これまでレトロニムが京都をはじめ城崎や大阪など各地の路上で行ってきた演劇のワークショップを新たにパッケージし、自分が暮らす町や馴染み深い都市に自分で観客席を設置することができるものとして販売します。



ワークショップ内容

持ち運び可能なディスプレイが搭載されたガジェットに、「ト書き（＝戯曲で使われる行為などの指示書き）」を表示させながら街中を巡り、街や路上を歩き交う人に紛れて行く演劇のワークショップです。ただ観光客でもなく、ただ住人でもなく、ただ通行者でもなく、街の想定から外れて観客になってみる演劇のワークショップです。

あなたの街で、あなたが自らガジェットを置くことも、あなたの街に、レトロニムがガジェットを連れて行くこともできます。演劇の経験の有無にかかわらず、お気軽にご相談ください。



ガジェット

今回のワークショップの重要なアイテムであるこのガジェットは、当初、劇場で行われるはずだった上演を、路上にそのまま持ち出すためのオブジェクトとして考案されました。ト書きが字幕に、スクリーンがディスプレイに形を変え、劇場から出かけていくためにカートに乗り、コンセントから自由になるためポータブルバッテリーが搭載されました。

こうして劇場から持ち出されたガジェットは、人々が日常的に繰り返す行動や都市の機能や構造から要請される振る舞いなど、街にとって妥当な行為や状況、あるいは環境を字幕によって可視化する、いわば上演を街に実装する吹替装置となりました。

しかし、取り組みを続けるうちに、上演の吹替装置としての役割から徐々にその性質を変え、いまでは字幕を取り巻く人々に対して観客席を用意するような、レトロニムの考える演劇にとって重要なアイテムとなっています。



パッケージ内容

今回、二つのパッケージを用意しました。どちらの場合でも、まずはお気軽にご相談ください。

1. レトロニムが、ガジェットを連れてあなたの街を訪れ、ワークショップを行います。街を散歩しながら場所を決め実施するとともに、その様子を映像に撮影し、上映を行います。その後、映像をお渡しします。

価格

レトロニムの交通費（要相談）

ワークショップ実施費用（30000 円）

2. ガジェットをご購入いただけます。ガジェットに表示される字幕データ（編集可能）と、コンセプトや取り組みについて記載した手引きを同梱し、発送します。

購入者は、ふだん自分が暮らす街や、あるいは出かけて行った先などで、時と場所を選ばずに、自由に観客席を置いて遊ぶことができるようになります。

購入すると送られてくるもの

- ・ガジェットの組み立てキット
（カート、ディスプレイ、モバイルバッテリーなど）
- ・ガジェットを使って上演をするための取扱説明書・動画
- ・字幕（USB メモリに保存されたもの）

価格

70,000 円+送料

実施風景

